



コミュニティ推進協議会

地道な日常活動の積み重ね

地域社会の防犯や防災、青少年健全育成、環境問題など解決の必要性が高くなっています。これらを効果的に進めるために各種団体と連携し、22の学区コミュニティは地道な活動を積み重ねていきます。

自然と生活環境をよりよくする活動

- まちなみ美化
環境美化協力員などの協力でごみの適正排出。マナー向上の呼びかけ。
- 環境部門推進者のつどい
公共物の落書きも取り上げます。
- 不法投棄対策
- 違反広告物追放、河川愛護活動

自主防災に関する活動

- 自主防災組織の育成や防災訓練
- 防災マップ作成
- 交通安全と防犯活動

コミュニティプラン策定

- 今年度、22コミュニティの地域プランが完成します。

青少年育成

- 各種団体と連携し、たくましい子どもの育成環境づくりを進めます。
- 市青少年育成会議、子ども会育成連合会、学校などとの連携
 - 少子化対策への積極的な取り組み

広報物の配布と情報発信

コミュニティやまちづくり情報の



月2回の市報配達作業

発信。コミュニティ推進員を通じて行政や地域情報を届けます。

- 情報紙「こみこみ」の発行
- 広報紙等の配布

中高年の健康づくりに一役

会瀬学区健康づくり推進員

日立市は「ひたち健康づくりプラン21」の重点プロジェクトである地域主体の健康づくり体制強化のため、14年度から3年で全学区に健康づくり推進員を養成しています。講座には各コミュニティから6名が受講し、修了後は地域で健康づくりを支援することになります。

本年度指定の会瀬学区メンバーは、地域の人たちが生き生きと人生を過ごせるよう、来年度からの活動に備えます。組織の見直しや健康部会の名称を役員会に提案、「中高年の食生活改善と運動不足の解消」を掲げ、地域の特色を生かし人材活用で年間計画を立て実施する予定です。

まちが物騒に!

日立市でも増える刑法犯罪

刑法犯の認知件数は、日立市でも平成10年を100として14年は133と大きく増加しています。

14年の認知件数3,261件で、82%の2,683件は窃盗犯です。窃盗犯で多いのは車上狙い(707件)、自転車やバイク盗(605件)、万引き(256件)などですが、空き巣ねらい(163件)や忍び込み(66件)も少なくありません。特に団地が空き巣に狙われる傾向があります。

効果絶大、住民がつくる自警団

多発する空き巣被害から地域を守

ろうと、昨年5月に高鈴台団地自治会は自警団を発足させ、地域の巡回を行っています。その後、12月に青葉台団地が発足し、今年に入って成沢団地、久慈団地などが活動を始め、現在準備をしている団地もあります。

自警団は、自主的に参加した住民が、3~4人のグループになって「地域安全」の腕章をつけ、笛や携帯電話などを持参し、町内を巡回、出会う人に声をかけたり、不審車のナンバーを控えたりの活動をしています。

自警団の効果は絶大で、高鈴台では昨年1~5月までに6件あった空き巣が、活動初日に1件あっただけで、以後なくなりました。青葉台で



高鈴台団地、自警団巡回中

は昨年1~11月に14件あったものが、全く無くなりました。

高鈴台や青葉台の会長さんによると、自警団の活動は、無理せず散歩のつもりで気楽にやるのがコツで、空き巣が減るだけでなく、住民相互が声をかけあうなど、コミュニティづくりにも大変役立ったそうです。

22コミュニティの縁の下の力持ち

日立市には小学校区をエリアに活動する22の学区コミュニティがあります。行政との協働で進める防災や健康に関する事業も多くなり、連絡調整が増えています。単会ではこの事務を行う部局などを設けています。今回は主にその任に当たっている縁の下の力持ちのひとことを紹介します。

豊浦自治会

総務部会が総括的な事業事務を担当、スムーズに活動できるようサポートします。



総務部 伊藤恵子さん

中里を住みよくする会

地域の皆さん全員が、参加しやすい行事や活動の環境づくりをしています。



事務局長 和田慶紘さん

日高学区市民自治会

地域の協力を感謝しながら、地域に顔向けできる活動を目指しています。



事務局長 宇佐美吉郎さん

仲町学区を住みよくする会

各事業の企画や運営、事業の案件などの処理も的確に行うよう心がけています。



事務局長 佐藤英子さん

田尻学区市民運動をすすめる会

地域の皆さんに親しまれ、そして、頼れるコミュニティでありたいと思います。



事務局長 加藤康裕さん

中小路を住みよくする会

地域の方々の声を即取り上げ話し合い、協力・助け合う活動を進めています。



書記 大平勝弥さん

滑川まちづくり市民の会

「みんなで考えみんなで行動」をモットーに、企画立案し、実施します。



事務局長 沼田昌治さん

助川まちづくり協議会

みんなで知恵と力を出しあって、歴史の息づくまちづくりを進めます。



事務局長 青山光子さん

宮田学区市民運動をすすめる会

常に柔軟な発想の転換を心がけ多才な人材で地域の活性化に努めています。



副会長 染谷正枝さん

会瀬学区市民運動推進会

参加しやすい地域、生き生きした地域、思いやりある地域を目指し活動しています。



事務局長 佐藤捨松さん

成沢ふれあい推進会

前向きに取り組む人の良さと力を生かせるような機会と場を探します。



事務局長 國府田毅さん

油縄子学区住みよいまちをつくる会

地域住民のニーズを反映した、会の運営に寄与していきたいと思っています。



事務局長 海老原勉さん

諏訪学区明るい市民の会

地区市民のふれあいのある仲間づくりの拠点を守る縁の下の力持ちです。



総務広報局 石川清直さん

明るい大久保市民の会

3年目の事務局の仕事は、行事に追われ忙しいですが、とても楽しいです。



事務局長 大窪由美子さん

どっすろ！落書き

11の学区コミュニティから推薦された人たちで構成する「環境部門推進者のつどい」が開催されました。会議では現在問題になっている公共物への落書き対策について議論され、今後の取り組みが話し合われました。

みんなのひとこと

河原子連合自治会

リーダー育成を重視して、地域の人たちに喜ばれる事業を進めます。



副会長兼事務局長 八幡 一さん

塙山学区住みよいまちをつくる会

“そのときがベスト” “テーマが与えられたら、解決に向けてベストを尽くします。”



事務局長 松崎勝利さん

大沼学区コミュニティ推進会

一人一役、全員主役をモットーとし、プラス思考で意欲的に取り組んでいます。



書記長 園部三吉さん

金沢学区コミュニティ推進会

誠実な窓口対応、創意工夫とチームワークで、行事・事業をバックアップします。



事務局長 松下安男さん

水木学区市民運動推進会

『ふれあい・助けあい・語りあい・認めあい』をモットーに活動します。



事務局長 阿部善次郎さん

大みかコミュニティ推進会

活動の円滑化のための情報収集と発信、および資料のパソコン化を推進します。



事務局長 村山達男さん

久慈学区明るく住みよいまちをつくる会

地域コミュニティの場として、住民には明るく接するように心掛けています。



事務局長 横溝和生さん

坂下地区市民運動をすすめる会

有言実行が最善、次が有言不実行。黙ってやることは決してしない。がモットーです。



事務局長 赤津憲一さん

“健康づくり”はラジオ体操から

1,000人余の参加者



みんな元気に1、2、3

大沼学区は7月20日にラジオ体操の発会式をおこないました。

15年度の健康づくり増進事業地域に選定され、取り組める事業内容を検討するなかで、すぐに実施できるものとして、子どもたちの夏休みスタートに合わせて、ラジオ体操の発会を呼びかけてきました。

発会式は大沼小学校で実施、子ども800人、大人200人、計1,000人との予想をしていたのですが、予想を超えた参加があり、盛会のうちにスタートしました。

ラジオ体操が健康づくりに直接的に効果のあることは当然としても、朝一番のあいさつ、元気のよい言葉を掛け合って一日が始まる気持ちのよさの効果も健康づくりです。

日立市は昨年に続き、健康づくり運動を進める目的で、夏休みチャレンジラジオ体操を各種の団体に呼びかけました。これに応じて子ども会や町内会コミュニティなど9団体が参加しました。

日立のよいところ

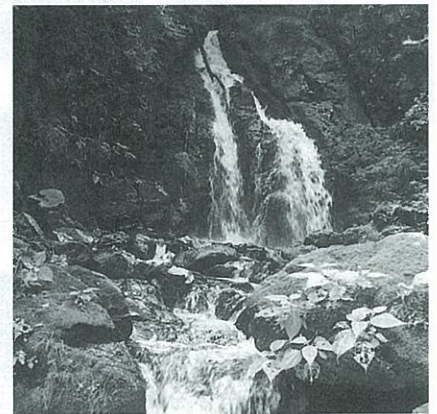
小木津の 秘境 不動滝

小木津岩本の集落を抜けて、東連津川沿いを上流に歩くと、村の水田を潤すために江戸時代に築かれた堰やオマンダラさまと呼ばれる梵字が刻まれた崖石などが見られます。

さらに上流をめざすと、うっそうとした杉木立の中に不動滝がありま

す。滝の高さ12m、幅6m。傍らに2基の不動明王の石仏があります。昔、祠があり修験者がいたという記録も残されています。取り立てて言うほどの大げさな滝ではありませんが、それなりの雰囲気を持った滝で、地元の人々から愛されています。

現在、NHKで放送されている「武蔵」で、沢庵和尚の修業の場面の撮影にこの場所が選ばれました。さもありなんと風情があります。





コミュニティ推進協議会 単会リレー訪問

市内には小学校区をエリアにコミュニティ活動する団体が22あります。それぞれの地域の特色を活かしながら、住民と一緒に住みよいまちをつくるための活動を続けています。今回は大みかコミュニティ推進会を紹介します。

地域は子どもたちとの関わりを深く

～大みかコミュニティ推進会～

地区の特長

大みか学区は風神山の東側に広がる台地で、海、山に囲まれ、自然に恵まれた地域です。

昭和40年代に地域全体が区画整理され、日製大みか工場、研究所など大手企業が進出、商店街、病院、学校など生活環境も整備され、発展しつつある地域です。

また、茨城キリスト教学園、日立商業高校など教育環境も充実し、街は若者で活気に満ちています。

大みかコミセンは大みか小学校の敷地内に建てられていて、コミセン内にある図書室には子どもたちが校舎と同じように往来し、地域の人たちと接する機会が多く、自然な形で交流がなされています。

会の構成

市民活動は、「大みか市民活動実践会」として古くから常会・町内会などで活発に行われており、その後「大みかコミュニティ推進会」に改称すると共に組織化され、平成10年に完成した現在の大みかコミュニティセンターを拠点に活動を行っています。会長はコミュニティ推進会、社会福祉協議会、コミセン運営委員会の長として全体を束



校舎に隣接されたコミセン

ね、各会に副会長が数名おり、その補佐をしています。

また、広報、文化体育、自主防災、生活環境、青少年育成、保健福祉の6専門部があり地域の班推進員、並びに各種団体と連携しながら推進会事業を進めています。

特徴ある行事

「市民レクリエーション大会」

会の歴史的な行事の一つであります。以前の運動会形式から、午前中で終え、みんなが楽しめるゲーム主体のレクリエーションとして、定着しています。商店街で買い物をするように野菜を買い込み、指定の

目方に一番近かった人がその野菜を貰えるという「目方量りゲーム」や、専門部が毎年地域に関する問題を持ち回りで考えてつくる「〇×ゲーム大会」などが大好評で毎年楽しんでいます。

「地域懇談会」

毎年、総会前後2回、当年度の推進会活動についての話し合いと、活動後の反省会としての「地域懇談会」が、地域班の推進員と代表者が一堂に会して行われており、意見交換を通して地域の連帯を深めると共に、交流の場ともなっています。



活発に意見交換した地域懇談会

今後の展望

「学校との連携を保ち、子どもたちが地域の人たちとより多くの交流が図れる環境づくりと、子どもたちのよい面を引き出すような指導・育成をしたい。また、街中を花壇で美しくし、地域の人たちがより親睦を深められるような行事を行うと共に、コミュニティに携わる人材発掘の場を多くつくりたい」と山口会長は話しています。



会長 山口 勇
事務局 大みかコミュニティ化カー
TEL 53-5211
世帯数 3,078
人口 6,861
(平成15年6月1日現在)